

大会参加者の心得

1. 服装と用具

大会参加者は、清潔でプレーにふさわしいと認められたテニスウェアを着用して下さい。大会レフェリーがふさわしくないと判断した場合は、着替えていただく場合があります。

テニスウェアとは、男子の場合はシャツとショーツ、女子の場合はワンピースまたはシャツとスカートまたはショーツを言います。

セーター・カーディガン・ベスト類は着用できますが、ウォームアップスーツはウォームアップ時に限ります。

(1)着用できない服装

テニス用でないTシャツ・ランニングシャツ・ランニングパンツ・ジーンズ
その他の不適切なウェアは、ウォームアップ時も着用できません。

(2)テニスシューズ

コート面を傷めたり、汚したりするおそれのないテニス専用シューズを履いて下さい。

(3)ロゴ・マーク

試合における服装および用具につけるロゴは、大きさと数に制限があります。大きさが19.4平方cmを超える大きなものとか、数が3ヶ以上のものは特に注意して下さい。目にあまるものは、交換していただく場合があります。詳しくはJTAルールブックをご覧ください。

2. 会場集合時の注意事項

大会会場は、他の行事等で駐車場が確保できない場合がありますので、早めに余裕をもって集合して下さい。会場に着いたら受け付けで参加費を払って大会プログラムを受け取って下さい。

プログラムの内容と、大会本部のオーダオブプレーボードを見て、自分の試合に関する事項を確認し、間違いのないよう注意して下さい。

3. 試合の方法

試合は次のような方法で行います。特に初めて参加される方は、本書およびJTAルールブックをよく読んで、事前に十分理解しておいて下さい。

(1) 一般の試合：原則8ゲームプロセット・セミアドバンテージで行います。

(国体予選・県選手権・原田杯については、ベストオブ3タイプブレークセット・スタンダードデュースで行う場合があります)

(2) ジュニアの試合：原則1セットマッチ(タイプブレークセット)・スタンダードデュースで行います。

(選抜室内・トヨタジュニアについては、8ゲームプロセット・スタンダードデュースで行います)

注①8ゲームプロセット

2ゲーム以上の差をつけて8ゲームを先取、または7ゲームオールとなった場合は2ゲーム連続して取得、または8ゲームオールとなった場合はタイプブレークを行い、それを取った方が勝者となります。

注②セミアドバンテージ

デュースになると、1回スタンダードデュースを行い、再度デュースになった場合、レシーバーがサイドを選び、次の1本を取った方が、そのゲームを取得します。

誤ってスタンダードで試合を進めていて、途中で気がついた時、アドバンテージなら、もう1ポイントプレーし、再度デュースになればノーアドに切り換える。(二人とも誤りに気がつかなかった時のポイントは有効です)

注③ベストオブ3タイプブレークセット

2ゲーム以上の差をつけて6ゲームを先取、または5ゲームオールとなった場合は2ゲーム連続して取得、または6ゲームオールとなった場合は、タイプブレークを行い、それを取った方がそのセットを取得します。これを1セットとして、2セット先に取った方が勝者となります。

注④タイブレーク

前記8ゲーム・6ゲームの試合で、8ゲームオールまたは6ゲームオールとなった場合、タイブレークゲームを行います。

相手より2ポイント以上の差をつけて、先に7ポイントを取った方が、そのセットまたは試合の勝者となります。2ポイントの差がつかなければ2ポイントの差がつくまでゲームを続けます。

サービスの順番は、そのゲームのサーバーが1本だけデュースコートで行い、以降同じ順番に2本ずつサービスを行います。

6ポイント毎、休憩なしでエンド交代をします。

4. 試合開始前

- (1) 試合用ボールは、ドロ番号の小さいプレーヤーが本部に取りに来て下さい。試合終了後、勝ったプレーヤーが本部に結果を報告するとともに、ボールを返却して下さい。
(クラブ対抗戦では、負けたチームがボールを持って帰って下さい。)

- (2) 試合前の練習は、初回戦は3分間、以降はサービス5本とします。

(3) 試合前のトス

試合開始前、トスして勝ったプレーヤーは、エンドまたはサービスカレシープを選択して下さい。トスに負けたプレーヤーは、トスに勝ったプレーヤーが選ばなかった権利を選択して下さい。

5. スコアのアナウンス

サーバーは、サービスを打つ前にレシーバーに聞こえる声で、スコアをアナウンスして下さい。スコアはサーバーの得点を先に言って下さい。

(例：1-0フィフティーンラブ、3-2フォーティサーティ)

ただし、タイブレークの場合は、得点の大きい方から言いリードしている選手名を付け加えて下さい。

(例：1-0ワンゼロ〇〇、3-2スリーツー〇〇)

6. 試合中の休憩

- (1) エンド交代時の休憩は90秒です。ただし1ゲーム目およびタイブレークのエンド交代時には休憩はありません。
- (2) サービス間には休憩はありません。前のポイントから次のサービスまでの時間は20秒以内で、連続的にプレーを行って下さい。
- (3) 3セットの試合で各セットが終わった後、120秒の休憩（セットブレーク）があります。

7. フットフォールト

サーバーが、静止状態からボールをトスしてラケットで打つまでの間（サービスの動作期間）に次のような違反をした場合、フットフォールトになります。

フットフォールトは、対戦相手がコールすることはできません。ロービングアンパイアを呼んで下さい。

- ① 走りながらサービスをした場合。
- ② ベースラインまたはその内側を踏んだ場合。
- ③ サイドラインの仮想延長線の外側を踏んだ場合。
- ④ センターマークの仮想延長線を踏んだ場合。

8. レットについて

インプレー中、隣からボールが転がってくるなどして、プレーが妨害された場合、レットをコールしてそのポイントのやり直しができますが、次のような場合はレットが無効になります。

- ① レットのコールの前に打ったボールがアウトになったは失点。
- ② レットのコールの前に打ったボールがエースになったは得点。

9. サービスのレット

次のような場合は、そのサービス1本のみ、やり直しになります。

- ① サービスされたボールがネット等に触れ、相手コートに正しく入った場合。
- ② サービスされたボールがネット等に触れ、レシーバーおよび持ち物に直接触れた場合。
- ③ レシーバーが、返球できる準備ができてなかった場合。